

付 録

付録 海外のバレエ団に所属する主な日本出身者 (2023/2024シーズン現在)

欧州、北米、ロシア、アジアなど海外のバレエ団に所属している日本出身ダンサーについて、バレエ団ウェブサイト掲載を原則とする確認を行った。

日本における知名度や実績など考慮して、代表的なダンサーの氏名・所属・階級を以下に掲載する。各国を代表するバレエ団や世界的に著名なバレエ団、有名振付家が芸術監督を務めているカンパニーなどの在籍者、最高位ダンサーやソリストとしての実績のある踊り手を挙げ、日本国内での認知度なども踏まえた。ローザンヌ国際バレエコンクール入賞者についてもリストアップした。

掲載順は、ヨーロッパを起点に、ロシアや北米、オセアニア、アジアといった流れである。

なお、掲載者は海外のバレエ団やダンスカンパニーでプロとして活動しているダンサーの一部であり、掲載者以外にも多くのダンサーが海外で活動している。さらに海外に留学し、研修中のダンサーも数多く存在している。海外で活動している全てのダンサーを把握することは困難であるが、各国の概況として、現在日本人が活動する土壌がつけられるに至った特徴的な経緯や、代表的なバレエ団の近年の動向を合わせて以下に記載する。

※階級制がある場合の最高位 ◆はローザンヌ国際バレエコンクール入賞者

【イギリス】

日本でも高い認知度を誇る英国ロイヤル・バレエ団では、フレデリック・アシュトン、ケネス・マクミランらによる英国バレエの名品を今に受け継いでいる。1980年代後半以降、世界各地から優秀な人材を登用し、国際色豊かなスターがそろそろ。傘下のロイヤル・バレエ・スクールの卒業生であり、1988年にローザンヌ国際バレエコンクールでゴールドメダルを獲得した熊川哲也は東洋人として初めて同バレエ団に入団し、1993年にプリンシパル（最高位）に昇進した。また吉田都は、英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団を経て英国ロイヤル・バレエ団に移籍し、両ロイヤル・バレエ団で22年間プリンシパルを務めた。現在、英国ロイヤル・バレエ団は現代作品にも精力的に挑み、ライブシネマなど映像コンテンツの充実も際立つ。英国バーミンガム・バレエ団では、2020年にカルロス・アコスタが芸術監督に就任し、有名バンド「ブラック・サバス」の楽曲を用いた話題作を上演するなど新機軸を打ち出す。イングリッシュ・ナショナル・バレエは、前芸術監督タマラ・ロホの改革によって、新たな演目を導入するなど活性化し、団の実力を向上させた。その他、ノーザン・バレエ、スコティッシュ・バレエが知られている。英国のバレエ団の運営は、アーツカウンシルからの助成金が必要な割合を占める。教育面では、ロイヤル・バレエ・スクールなどバレエ団傘下を含めたバレエスクールへの日本からの留学生が多い。

ひらの りょういち
 平野 亮一 (英国ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆
 たかだ あかね
 高田 茜 (英国ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆
 かねこ ふみ
 金子 扶生 (英国ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※
 アクリ 瑠嘉 (英国ロイヤル・バレエ団ファーストソリスト) ◆
 チェ ユファイ
 崔 由姫 (英国ロイヤル・バレエ団ファーストソリスト) ◆
 まえだ さえ
 前田 紗江 (英国ロイヤル・バレエ団ソリスト) ◆
 なかお たいすけ
 中尾 太亮 (英国ロイヤル・バレエ団ソリスト) ◆
 ささき まりこ
 佐々木方璃子 (英国ロイヤル・バレエ団ソリスト) ◆
 いからしだいち
 五十嵐大地 (英国ロイヤル・バレエ団ファーストアーティスト)
 かつら ちさと
 桂 千理 (英国ロイヤル・バレエ団ファーストアーティスト)
 ささき すみな
 佐々木須弥奈 (英国ロイヤル・バレエ団アーティスト) ◆
 ひらた ももこ
 平田 桃子 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆
 みずたに みき
 水谷 実喜 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆
 くりはら ゆう
 栗原 ゆう (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団ファーストソリスト)
 いた いく
 伊藤 陸久 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団ソリスト)
 ふちがみ れいな
 淵上 礼奈 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団ファーストアーティスト)
 たかはし えりな
 高橋絵里奈 (イングリッシュ・ナショナル・バレエリードプリンシパル) ※
 か せ しおり
 加瀬 葉 (イングリッシュ・ナショナル・バレエリードプリンシパル) ※
 さるはし けん
 猿橋 賢 (イングリッシュ・ナショナル・バレエファーストソリスト)
 おおたに ほるひ
 大谷 遥陽 (イングリッシュ・ナショナル・バレエソリスト)
 なかあきれん たろう
 仲秋連太郎 (イングリッシュ・ナショナル・バレエジュニアソリスト)
 すずき えみり
 鈴木絵美里 (イングリッシュ・ナショナル・バレエジュニアソリスト)
 ふちやま しゅんへい
 淵山 隼平 (イングリッシュ・ナショナル・バレエアーティスト) ◆
 やまだ
 山田ウィリアム (イングリッシュ・ナショナル・バレエアーティスト)
 しらい さえか
 白井沙恵佳 (ノーザン・バレエリーディングソリスト)
 ますもと かほ
 升本 果歩 (ノーザン・バレエダンサー)
 たかはし
 高橋きりか (ノーザン・バレエダンサー)
 きたの せな
 北野 聖奈 (ノーザン・バレエダンサー)
 わきつか まさる
 脇塚 優 (ノーザン・バレエ研修生) ◆
 たかた うらら
 鷹田 麗 (スコティッシュ・バレエアーティスト)

【アイルランド】

1998年にバレエ・アイルランドが設立され、毎シーズン春と秋に首都ダブリンと全土で公演を行っている。また若い才能の育成にも力を入れ、夏季講座などを実施している。

うじはらりゅうのすけ
 氏原瑠之介 (バレエ・アイルランド)
 やぎゅう りょうこ
 柳生 涼子 (バレエ・アイルランド)

【フランス】

バレエはルネサンス時代のイタリアで生まれたとされるが、16世紀にフランスに伝わり、17世紀、太陽王と呼ばれたルイ14世の時代に花開いた。動きのポジションが生まれ、王立舞踊アカデミーが創設され、次第に宮廷での余興から劇場での舞台へと発展する。「バレエの殿堂」と呼ばれるパリ・オペラ座バレエ団は360年を超える歴史と伝統を誇り、現在も世界のバレエの重要地である。エトワール（フランス語で「星」）を頂点とする厳格な階級制が知られ、入団者の多くはパリ・オペラ座バレエ学校の卒業生である。なおダンサーは定年制（現在は男女共に42歳）。1980年代に、ルドルフ・ヌレエフが芸術監督に就いて黄金時代を築いた。その後もヌレエフが遺した古典作品やジョージ・バランシン、モーリス・ベジャールらの作品に加え、ウィリアム・フォーサイス、アンジュラン・プレルジョカージュ、ジョン・ノイマイヤーら当代一流の振付家の作品をレパートリーに加え、コンテンポラリーダンスにも積極的に挑んでいる。日本の勅使川原三郎も新作を3度委嘱された。現在の芸術監督はスペイン出身のジョゼ・マルティネス。近年では、ダンサーの国籍・人種の多様化が進み、2023年3月には日本出身のオニール八菜がエトワールに任命された。パリ・オペラ座以外にもボルドー・オペラ座バレエ団、トゥールーズ・キャピトル・バレエ団や現代作品を主とするリヨン・オペラ座バレエ団などがある。

オニール八菜（パリ・オペラ座バレエ団エトワール）※◆

クララ・ムーセーニュ（パリ・オペラ座バレエ団スジェ）

桑原沙希（パリ・オペラ座バレエ団コリフェ）

パティントン・エリザベス・正子（パリ・オペラ座バレエ団コリフェ）

山本小春（パリ・オペラ座バレエ団カドリユー）

太田倫功（ボルドー・オペラ座バレエ団エトワール）※

長谷川諒太（ボルドー・オペラ座バレエ団）

中里佳代（トゥールーズ・キャピトル・バレエ団ドゥミソリスト）

金子稔（トゥールーズ・キャピトル・バレエ団ドゥミソリスト）

磯永早希（トゥールーズ・キャピトル・バレエ団コール・ド・バレエ）

加藤三希央（リヨン・オペラ座バレエ団）◆

清水凌（ラン国立歌劇場バレエ団）

加藤野乃花（マルセイユ・バレエ団）

木下佳子（マルセイユ・バレエ団）

佐藤亜耶（マルセイユ・バレエ団）

丹野沙也香（ニース・オペラ座バレエ団コール・ド・バレエ）

上羽結衣（マランダン・バレエ・ビアリッツ）

【モナコ公国】

モンテカルロは、20世紀初頭に芸術界を席卷したバレエ・リュスと縁が深い土地。1985年、モナコ公女カロリーヌはモンテカルロ・バレエを創設。1993年に芸術監督に就いたジャン＝クリストフ・マイヨールの物語性豊かで洗練された創作により世界的名声を博している。

こいけ
小池ミモザ（モナコ公国モンテカルロ・バレエ団プリンシパル）※
まつやま きざき
松山 築（モナコ公国モンテカルロ・バレエ団）

【ドイツ】

ドイツでは、全土を通して劇場文化が地域に根付いている。首都ベルリンをはじめとする大都市から小都市に至るまで州立や市立の劇場・歌劇場が点在し、オペラやオーケストラ、演劇と共にバレエ（ダンス）が上演される。団の規模はさまざま、大規模な全幕作品を上演できる劇場から団員が10名程度のダンスカンパニーまで幅がある。そして公立劇場では、規模の大小問わずダンサーの身分・報酬が保証されている。日本では、ドラマティック・バレエの名門と称されるシュツットガルト・バレエ団、巨匠振付家ジョン・ノイマイヤーが率いてきたハンプルク・バレエ団が来日公演を重ねていることもあってなじみ深い。各地で数多くの日本出身ダンサーが活躍しているが、その先駆といえるのが1970年代後半から1980年代前半にかけてシュツットガルト・バレエ団やミュンヘン・バレエで踊った深川秀夫。また、2012年から2019年にかけて森優貴がレーゲンスブルク劇場ダンスカンパニーを率い、日本人として初となるヨーロッパにおける公立劇場舞踊芸術監督を務めた。

すがい まどか
菅井 円加（ハンプルク・バレエ団プリンシパル）※◆
あめみや みずき
雨宮 瑞季（シュツットガルト・バレエ団ドゥミソリスト）
さわの あい
澤野 葵（シュツットガルト・バレエ団 コール・ド・バレエ）
さっさ はるか
佐々 晴香（ベルリン国立バレエ団ソリスト）
オステアー きら
オステアー 紗良（ベルリン国立バレエ団デミソリスト）
かんの まり な
菅野 茉里奈（ベルリン国立バレエ団デミソリスト）
かわにし まり
川西 真理（ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ）
まつもと ゆか
松本 有加（ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ）
なかしま みり
中島 美紀（ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ）
ふじもと かなこ
藤本 佳那子（ドレスデン国立歌劇場バレエ団プリンシパル）※
つなき あやは
綱木 彩葉（ドレスデン国立歌劇場バレエ団プリンシパル）※
なかしま よう
中島 耀（ドレスデン国立歌劇場バレエ団コール・ド・バレエ）
すぎうら あんり
杉浦 杏理（ドレスデン国立歌劇場バレエ団コール・ド・バレエ）
あべ なつか
阿部 夏香（カールスルーエ州立劇場ソリスト）

- 伊藤 奈美 (カールスルーエ州立劇場ソリスト)
 山本 陽麗 (カールスルーエ州立劇場ソリスト)
 門 沙也香 (ヘッセン州立劇場)
 香取 成和 (ヘッセン州立劇場)
 高田 樹 (ヘッセン州立劇場) ◆
 井出 千智 (ハノーファー州立劇場)
 石崎 双葉 (バレエ・アム・ライン)
 佐合 あこ (バレエ・アム・ライン)
 嶋田 麻里恵 (バレエ・アム・ライン)
 千葉 ゆきの (ライプツィヒ・バレエ)
 石川 まどか (ライプツィヒ・バレエ)
 浅井 恵梨佳 (キール・バレエ)
 山本 景登 (キール・バレエ)
 大津 里穂 (シュレースヴィツヒ＝ホルシュタイン劇場)
 手老 梨紗 (シュレースヴィツヒ＝ホルシュタイン劇場)
 青木 教和 (ロストック劇場)
 西館 典子 (ブラウンシュヴァイク州立劇場)
 奥西 れい (ブラウンシュヴァイク州立劇場)
 徳橋 菜生 (ブラウンシュヴァイク州立劇場)
 金 世友 (オルデンブルク州立劇場) ◆
 亀井 彩加 (オスナブリュック劇場)
 福島 昌美 (ノースハルツシティ劇場)
 五島 温大 (ハレ劇場)
 石向 佳那子 (ハレ劇場)
 亀本 彩奈 (ハレ劇場)
 森川 礼央 (ハレ劇場)
 浜野 友里 (アルテンベルク＝ゲーラ劇場)
 松村 真那 (アルテンベルク＝ゲーラ劇場)
 岩田 果純 (ドルトムント・バレエ)
 武藤 圭吾 (ドルトムント・バレエ)
 田村 彩恵 (ドルトムント・バレエ)
 清水 渡 (エッセン市立バレエ団ソロ) ※
 岸本 有希 (エッセン市立バレエ団ソロミットグルッペ)
 白江 世奈 (エッセン市立バレエ団)
 柿田 のぞみ (クレーヘルト＝メンヘングラートバッハ劇場)
 海老原 陶 (ミュンスター劇場)
 川端 千帆 (シアター・コブレンツ)

さかの まあさ
 坂野 真麻 (マインツ州立劇場)
 きじま かこ
 貴島 佳子 (アウグスブルク劇場)
 まつもと なつほ
 松本 夏帆 (レーゲンスブルク劇場)
 せやまあづさ
 瀬山亜津咲 (ヴッパタール舞踊団)
 やまもと しょうり
 山本 勝利 (ゴルティエ・ダンス)

【オーストリア】

音楽の都の中心部に位置するウィーン国立歌劇場はオペラの殿堂として名高いが、2010年、ウィーン国立バレエ団（ウィーン・フォルクスオーパー・バレエ団と合併）の芸術監督に就いたマニユエル・ルグリの手腕によって、バレエ団の人気・実力共に上昇した。現在は現代的な創作で知られるマーティン・シュレプファーが芸術監督を務め、2025年9月より女優バレリーナの誉れ高いアレッサンドラ・フェリを新監督に迎える。

はしもと きよか
 橋本 清香 (ウィーン国立バレエ団ファーストソリスト) ※
 きもと まさゆう
 木本 全優 (ウィーン国立バレエ団ファーストソリスト) ※
 かとう ゆうこ
 加藤 優子 (ウィーン国立バレエ団シニアアーティスト)
 なかの めともあき
 中ノ目知章 (ウィーン国立バレエ団デミソリスト)
 なかむらじゅんの すけ
 中村淳之介 (ウィーン国立バレエ団コール・ド・バレエ) ◆
 ねじめ けいすけ
 根占 啓佑 (ウィーン国立バレエ団コール・ド・バレエ/フォルクスオーパー)
 ふじよし ちぐさ
 藤吉 千草 (ザルツブルク州立劇場)
 かるべみきの
 軽部美喜野 (ザルツブルク州立劇場)

【スイス】

ローザンヌで毎年行われるローザンヌ国際バレエコンクールは、若手バレエダンサーの登竜門として広く知られ、2023年で50回を迎えた。ここで奨学金や就職の機会を得た新進たちの多くがスターへと駆け上っている。また同地には、20世紀バレエの巨匠モーリス・ベジャールが創設したカンパニーの本拠地が所在する。

おおぬき まさよし
 大貫 真幹 (モーリス・ベジャール・バレエ団) ◆
 おおはし まり
 大橋 真理 (モーリス・ベジャール・バレエ団)
 きしもと ひでお
 岸本 秀雄 (モーリス・ベジャール・バレエ団)
 たけおかこうの すけ
 武岡昂之介 (モーリス・ベジャール・バレエ団)
 なかがわ
 中川 るか (チューリヒ・バレエ グルッペ・ミット・ソロ)
 あいざわ ゆみ
 相澤 優美 (ジュネーヴ大劇場バレエ団)
 しげなり さら
 重成 沙羅 (ジュネーヴ大劇場バレエ団)

【イタリア】

ミラノ・スカラ座をはじめ、ローマ歌劇場、ナポリのサンカルロ劇場などにバレエ団が付属。近年日本人ダンサーが正団員として所属するようになっている。

もとよし せな 本吉 星菜 (ミラノ・スカラ座バレエ団コール・ド・バレエ)
 ささき 佐々木まどか (ミラノ・スカラ座バレエ団コール・ド・バレエ)
 にしはら ゆりこ 西原有里子 (マッシモ劇場)

【スペイン】

スペインではフラメンコなどスペイン舞踊が盛んだが、クラシック・バレエをベースにしたカンパニーとして1979年にスペイン国立ダンスカンパニーが設立された。同バレエ団では、1990年から2010年まで鬼才振付家ナチョ・ドゥアトが芸術監督を務め声望を高めた。

こぐれ あきね 小暮 秋音 (スペイン国立ダンスカンパニー コール・ド・バレエ)
 にった あゆか 新田 愛結花 (スペイン国立ダンスカンパニー コール・ド・バレエ)
 やまぐち かな 山口 佳奈 (スペイン国立ダンスカンパニー コール・ド・バレエ)
 いしい あんな 石井 杏奈 (バルセロナ・バレエ プリンシパル) ※

【ポルトガル】

首都リスボンには国立バレエのほか国立バレエ学校があり、日本からの留学生も見られる。

まつい みゆ 松井 美優 (ポルトガル国立バレエ団ソリスト)

【オランダ】

首都アムステルダムにあるオランダ国立バレエ団は、古典から現代作品まで多彩なレパートリーを上演する。デン・ハーグが拠点のネザーランド・ダンス・シアターは現代ダンスの名門として名高く、中村恩恵、金森穰、渡辺レイ、湯浅永麻、小尻健太らが在籍した。

さかもと りほ 坂本 莉穂 (オランダ国立バレエ団プリンシパル) ※
 やまだ しよう 山田 翔 (オランダ国立バレエ団ソリスト)
 やまもと こうよう 山元 耕陽 (オランダ国立バレエ団コール・ド・バレエ) ◆
 すずき そうし 鈴木 蒼士 (オランダ国立バレエ団ジュニアカンパニー)
 ふくし すりむ 福士 宙夢 (ネザーランド・ダンス・シアター I)

かりや まどか
刈谷 円香 (ネザーランド・ダンス・シアター I)
たかうら ゆきの
高浦 幸乃 (ネザーランド・ダンス・シアター I)
ふない ゆま
舟井 唯真 (イントロ・ダンス)

【ベルギー】

かつてモーリス・ベジャールが率いた20世紀バレエ団はブリュッセルに拠点を置いた。ロイヤル・フランダース・バレエ団で20年にわたってプリンシパルを務めた斎藤亜紀は、ジョン・クランコの名作『オネーギン』に主演するなど活躍し、現在は後進の指導にあたる。

かとうみ さこ
加登美沙子 (ロイヤル・フランダース・バレエ団)
いけだ ふみよ
池田扶美代 (ローザス)
はしもと ゆいか
橋本 唯香 (ローザス)

【デンマーク】

デンマーク・ロイヤル・バレエ団は、最も古い歴史を持つバレエ団のひとつ。19世紀半ばにバレエマスターを務めたオーギュスト・ブルノンヴィルによる指導法はブルノンヴィル・スタイルとして今に伝わり、ブルノンヴィル版『ラ・シルフィード』などが知られる。

ありい まよ
有井 舞耀 (デンマーク・ロイヤル・バレエ団ソリスト)
かわぞえ ともか
川添 智香 (デンマーク・ロイヤル・バレエ団コール・ド・バレエ)

【ノルウェー】

オスロにあるノルウェー国立バレエ団では西野麻衣子が長年プリンシパルを務めた。

まき みはる
槇 美晴 (ノルウェー国立バレエ団)
にしむら なえ
西村 奈恵 (ノルウェー国立バレエ団)
たなか つきの
田中 月乃 (ノルウェー国立バレエ団) ◆

【スウェーデン】

スウェーデン王立バレエ団には多くの日本人が所属。2014年にバレエ界のアカデミー賞とも称されるブノワ賞を受賞した木田真理子も同バレエ団で活躍しプリンシパルを務めた。

さっさ はるか
佐々 晴香 (スウェーデン王立バレエ団プリンシパル) ※

- みづもりけん たろう
 三森健太郎 (スウェーデン王立バレエ団プリンシパル) ※
- しばもと りかこ
 芝本梨花子 (スウェーデン王立バレエ団ファーストソリスト)
- いしだ ひろあき
 石田 浩明 (スウェーデン王立バレエ団セカンドソリスト)
- にえだ もえ
 贅田 萌 (スウェーデン王立バレエ団セカンドソリスト) ◆
- やなぎさわ かほ
 柳澤 郁帆 (スウェーデン王立バレエ団セカンドソリスト) ◆
- なかしま きさ
 中島 きさ (スウェーデン王立バレエ団コール・ド・バレエ)
- ぬかだ ゆうき
 額田 雄己 (スウェーデン王立バレエ団コール・ド・バレエ)

【フィンランド】

北欧のバレエ団の来日は限られるが、フィンランド国立バレエ団が2017年に日本公演を行い、『たのしいムーミン一家～ムーミンと魔法使いの帽子～』ほかを上演した。

- まつね はなこ
 松根 花子 (フィンランド国立バレエ団プリンシパル)
- ありみず しゅんすけ
 有水 駿介 (フィンランド国立バレエ団ファーストソリスト)
- ますもと ゆか
 升本 結花 (フィンランド国立バレエ団セカンドソリスト)
- はらだ なお
 原田 奈緒 (フィンランド国立バレエ団ダンサー)

【ポーランド】

首都ワルシャワのポーランド国立バレエ団をはじめ、各地の主要都市にある歌劇場にバレエ団が付属している。そして日本出身ダンサーはソリスト役を多く踊っている。

- えびはら ゆか
 海老原由佳 (ポーランド国立バレエ団プリンシパル) ※
- かげやま まい
 影山 茉以 (ポーランド国立バレエ団ファーストソリスト)
- きたい りょうた
 北井 僚太 (ポーランド国立バレエ団ファーストソリスト)
- ちようじ あおい
 丁子 蒼 (ポーランド国立バレエ団コリフェ)
- おか の ゆめ
 岡野 祐女 (ポーランド国立バレエ団コリフェ)
- まちやま たかとし
 待山 貴俊 (ポズナン歌劇場バレエ団ファーストソリスト) ※
- ほりうち あすか
 堀内明日香 (ポズナン歌劇場バレエ団ソリスト)
- いたや ゆうき
 板谷 悠生 (ウッチ歌劇場バレエ団ソリスト)
- おくの りほ
 奥野 里穂 (ウッチ歌劇場バレエ団ソリスト)
- ひがしのみずき
 東野 瑞希 (ビドゴシュチェ歌劇場バレエ団ソリスト)
- みつはし たくみ
 三橋 匠 (ビドゴシュチェ歌劇場バレエ団ソリスト)
- おくぞの まさふみ
 奥蘭 将文 (ビドゴシュチェ歌劇場バレエ団ソリスト)
- すずき ありさ
 鈴木亜里紗 (ビドゴシュチェ歌劇場バレエ団ソリスト)
- よしもと げんと
 吉本 弦人 (バルティック歌劇場バレエ団ソリスト) ※

くろさわ　みずき
黒沢　瑞（クラクフ歌劇場バレエ団ソリスト）※

【チェコ】

首都プラハのチェコ国立バレエ団を筆頭に各地の歌劇場で日本人ダンサーが活躍している。

おぎもと　み　ほ
荻本　美穂（チェコ国立バレエ団ファーストソリスト兼バレエミストレス）※

ふじい　あや　か
藤井　彩嘉（チェコ国立バレエ団ファーストソリスト）※

おくむら　あや
奥村　彩（チェコ国立バレエ団ファーストソリスト）※

わたなべ　あや
渡部　綾（チェコ国立バレエ団ソリスト）

なかがわ　な　な
中川　奈奈（チェコ国立バレエ団コール・ド・バレエ）

わきの　えり　こ
脇園江里子（ブルノ歌劇場バレエ団ファーストソリスト）※

さかばら　も　も　な
榊原百萌奈（ブルノ歌劇場バレエ団ソリスト）

おがさわら　しょう　ま
小笠原祥真（ブルノ歌劇場バレエ団デミソリスト）

い　せき
井関エレナ（ブルノ歌劇場バレエ団コール・ド・バレエ）

さくらどう　し　の
桜堂　詩乃（モラビアン・シレジアン劇場ファーストソリスト）※

まさとみ　れい
正富　黎（モラビアン・シレジアン劇場ファーストソリスト）※

しらつき　さ　わ
白附　沙和（モラビアン劇場オロモウツソリスト）※

【スロバキア】

首都ブラチスラバのスロバキア国立バレエ団には多くの日本人団員が在籍している。

かみなか
上中えりな（スロバキア国立バレエ団ファーストソリスト）※

さとう　れ　お　な
佐藤玲緒奈（スロバキア国立バレエ団ソリスト）

み　うら
三浦のぞみ（スロバキア国立バレエ団ソリスト）

みやがわ　ま　ほ
宮川　真保（スロバキア国立バレエ団デミソリスト）

ながほり　せい　る
永堀　星瑠（スロバキア国立バレエ団デミソリスト）

【ハンガリー】

首都ブタペストにある国立バレエ団には多くの日本人が在籍。ベルリン国立バレエ団でプリンシパルを務めた中村祥子が移籍してプリンシパルを務めたこともある。

たかもり　み　ゆ
高森　美結（ハンガリー国立バレエ団グランスジェ）

わかばやし　ゆ　き
若林　侑希（ハンガリー国立バレエ団グランスジェ）

きよた　もと　み
清田　元海（ハンガリー国立バレエ団グランスジェ）

おかじま たかあき
 岡嶋 孝晟 (ハンガリー国立バレエ団セミソリスト)
 あだち ゆいこ
 安達 結子 (ハンガリー国立バレエ団コール・ド・バレエ)
 やまもと りく
 山本 理久 (ハンガリー国立バレエ団コール・ド・バレエ)
 おおや なつな
 大矢 夏奈 (ハンガリー国立バレエ団コール・ド・バレエ)

【ルーマニア】

首都ブカレストの国立歌劇場には数多くの日本人が在籍してきた。2014年に日高世菜が同劇場の歴史上初のプリンシパルに任命された。

おくの りん
 奥野 凜 (ブカレスト国立歌劇場バレエ団プリンシパル) ※
 つかもと ひびき
 塚本 響 (ブカレスト国立歌劇場バレエ団ソリスト)
 よしえ えりな
 吉江 絵璃奈 (ブカレスト国立歌劇場バレエ団ソリスト)
 あらい かな
 新井 花奈 (ブカレスト国立歌劇場バレエ団)
 かにし りく
 川西 凜空 (ブカレスト国立歌劇場バレエ団)
 やまもと
 山本 あらた (ブカレスト国立歌劇場バレエ団)
 いのこ ちさと
 亥子 千聖 (シビウ劇場バレエ団)
 ながい あやか
 永井 綾香 (シビウ劇場バレエ団)
 むらた けんいち
 村田 健一 (シビウ劇場バレエ団)
 なかの れみ
 中野 玲美 (シビウ劇場バレエ団)
 おおくら いく
 大倉 伊久 (シビウ劇場バレエ団)
 ごとう まち
 後藤 万智 (シビウ劇場バレエ団)
 さいとう はな
 斉藤 羽南 (シビウ劇場バレエ団)

【スロヴェニア】

首都リュブリャナにあるスロベニア国立バレエ団、第2の都市であるマリボルの歌劇場では日本出身のダンサーたちが最高位に就くなど活躍している。

やまもと けんた
 山本 健太 (スロヴェニア国立バレエ団プリンシパル) ※
 なかしま あさみ
 中島 麻美 (スロヴェニア国立マリボル歌劇場ソリスト) ※
 おおまき ゆうや
 大巻 雄矢 (スロヴェニア国立マリボル歌劇場ソリスト) ※

【クロアチア】

首都ザグレブにあるクロアチア国立劇場では日本のダンサーが主翼を担っている。

鈴木^{すずき}里^り依^え香^か (クロアチア国立劇場プリンシパル)
住友^{すみとも} 拓^{たく}也^や (クロアチア国立劇場プリンシパル)
丸尾^{まるお}麻^あ日^す花^か (クロアチア国立劇場プリンシパル)
吉田^{よしだ} 司^し門^{もん} (クロアチア国立劇場ファーストソリスト)
松久^{まつひさ} 睦^{むつみ} (クロアチア国立劇場ソリスト)
玉川^{たまがわ} 貴^{たか}博^{ひろ} (クロアチア国立劇場)
住山^{すみやま} 美^み桜^お (リエカ国立劇場セカンドソリスト) ◆

【エストニア】

首都タリンにエストニア国立バレエ団があり、傘下にタリン・バレエ・スクールがある。

森^{もり}田^た 愛^あ海^み (エストニア国立バレエ団プリンシパル) ※

【リトアニア】

首都ヴィリニウスにあるリトアニア国立バレエ団は2001年に日本公演を行い、『ロミオとジュリエット』を披露した。

大野^{おおの} 晴^{はる}香^か (リトアニア国立バレエ団プリンシパルソリスト) ※

【トルコ】

首都アンカラやイスタンブールなどの歌劇場にバレエ団が付属して親しまれている。

落合^{おちあい} リザ (トルコ国立メルスィン・バレエ団)

【イスラエル】

コンテンポラリーダンスのカンパニーが活況を呈し、なかでも世界的振付家オハッド・ナハリンが長年芸術監督を務めたバットシェバ舞踊団は日本でも人気がある。

中村^{なかむら} 恵^え理^り (バットシェバ舞踊団)
堀田^{ほりた} 千^ち晶^{あき} (バットシェバ舞踊団)

【ロシア】

イタリアで発祥し、フランスで栄えたバレエは、ロシアで古典バレエとして確立された。旧ソ連時代には、ボリショイ・バレエやキーロフ・バレエ（マリインスキー・バレエ）の海外公演が国家の威信をかけて行われた。現在も首都モスクワやサンクトペテルブルクだけでなく、全土の国立歌劇場にバレエ団が付属している。また海外・国内のツアーを中心としたカンパニーもある。ロシア国内のみならず欧米などで踊るダンサーも多数で、教育面においてもバレエ界で重大な影響力を持つ。日本出身者では、岩田守弘がモスクワのボリショイ・バレエで第1ソリスト（最高位プリンシパルに次ぐ階級）にまで昇格し、パイオニアとして活躍した。また岩田は、ブリヤート国立劇場バレエ団、ニジニーノブゴロド国立アカデミーオペラ・バレエ劇場の芸術監督を務めた。マリインスキー劇場傘下のワガノワ・バレエ・アカデミー、ボリショイ・バレエ学校傘下のモスクワ舞踊学校をはじめとするさまざまなバレエ学校への留学生も多く、その卒業生はロシアや旧ソ連圏のみならず欧米のバレエ団に就職したり、帰国して日本のカンパニーに入ったりしている。2022年2月、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、ロシアで踊るダンサーや留学生が志半ばで帰国する姿も見受けられた。

- ながひさ 永久 メイ（マリインスキー・バレエファーストソリスト）
 おおさわ 大澤ホロウィッツ有論（マリインスキー・バレエコリフェ）
 ちの 千野 円句（ボリショイ・バレエソリスト）
 こだま 兒玉ポムフレット大河（モスクワ音楽劇場バレエコール・ド・バレエ）
 なりさわ マイカ・成澤・ガリムーリーナ（ロシア国立モスクワ・クラシック・バレエソリスト）
 たなか 田中 玲奈（ミハイロフスキー劇場バレエアーティスト）
 おおつか 大塚カレン（ロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエコール・ド・バレエ）
 ふくだ 福田 昂平（ノボシビルスク・バレエ団ソリスト）
 かとう 加藤 静流（プリモルスク（沿海州）オペラ・バレエ劇場ファーストソリスト）◆
 にしだ 西田 早希（プリモルスク（沿海州）オペラ・バレエ劇場ソリスト）
 たなか 田中 順子（プリモルスク（沿海州）オペラ・バレエ劇場ソリスト）
 にしぐち 西口 実希（エカテリンブルク歌劇場バレエ団プリンシパル）※
 くわばら 桑原 万奈（エカテリンブルク歌劇場バレエ団ソリスト）
 てらだ 寺田 智羽（エカテリンブルク歌劇場バレエ団ソリスト）
 やすむら 安村 秀熙（エカテリンブルク歌劇場バレエ団ソリスト）
 かなざし 金指承太郎（ニジニーノブゴロド国立アカデミーオペラ・バレエ劇場リードソリスト）※
 しばかき 柴垣 美羽（サラトフオペラ・バレエ劇場ソリスト）
 ひろせ 廣瀬晃太郎（サラトフオペラ・バレエ劇場ソリスト）
 いとう 伊藤 鞠（ロストフ国立歌劇場プリンシパル）※
 ふじむら 藤室 真央（カレリア共和国音楽劇場）
 つば 坪 雄大（カレリア共和国音楽劇場）

なだ いたる
名田 暢 (マリエル国立劇場プリンシパル) ※
いしぐろ ゆか
石黒 優花 (マリエル国立オペラ・バレエ劇場ソリスト)
むらた あやね
村田 彩音 (マリエル国立オペラ・バレエ劇場ソリスト)
おの であしろうた
小野寺 正太 (バシキールオペラバレエ劇場ソロアーティスト)
かがわ ともね
香川 智音 (ペルミ・バレエソリスト)
わかばやし りい
若林 莉々妃 (チェリャビンスク・バレエプリンシパル) ※
たくだ
多久田 さやか (クラスノヤルスク歌劇場バレエ団ファーストソリスト)
なかがわ ゆみこ
中川 裕美子 (ヴォロネジ国立オペラ劇場ソリスト)
おおた あつり
太田 厚徳 (ヴォロネジ国立オペラ劇場ソリスト)

【カザフスタン】

はしもと ありさ
橋本 有紗 (カザフ国立オペラバレエ劇場ソリスト)

【ウクライナ】

ウクライナは多くの世界的バレエダンサーを輩出。首都キーウのウクライナ国立歌劇場（旧称キエフ・バレエ）は旧ソ連時代から著名な名門で、田北志のぶ、寺田宜弘らが踊った。2022年12月、寺田が芸術監督に就任し、ロシアとの戦禍においてバレエ団を牽引する。

てらだ のぶひろ
寺田 宜弘 (ウクライナ国立バレエ団芸術監督)
ながさわ みえ
長澤 美絵 (キエフ・クラシック・バレエ)

【ジョージア】

首都トビリシにある国立バレエ団では古典作品を中心に多くの演目を上演。芸術監督は1980年代から2000年代までボリショイ・バレエ、アメリカン・バレエ・シアターでプリンシパルを務め、日本でも絶大な人気を博した名バレリーナ、ニーナ・アナニアシヴィリ。

ほそや かいと
細谷 海斗 (ジョージア国立バレエ団リーディングソリスト) ※
ごとう まさあき
後藤 匡聡 (ジョージア国立バレエ団ソリスト)
むとう まち
武藤 万知 (ジョージア国立バレエ団ソリスト)

【アメリカ】

現在アメリカには150を超えるバレエ団が存在するが、規模や性格はさまざまである。ニューヨーク・シティ・バレエ、アメリカン・バレエ・シアター、サンフランシスコ・バレエ

団、ヒューストン・バレエ団、ボストン・バレエ団などは団員数も多く大規模。他方で、中規模だが全米各地の都市に根付いたカンパニーやツアーを中心にしている小規模な団体も見受けられる。アメリカのバレエ団は大小を問わず民間運営で、公的助成金ではなく入場料収入に加えスポンサー収入、寄付金が収益の大半を占める。日本出身者としては、1989年にニューヨーク・シティ・バレエにおいて東洋人として初めてプリンシパルに任命された堀内元の活躍が特筆される。堀内は1999年にミズーリ州のセントルイス・バレエ団の芸術監督に就任し、傘下のバレエ学校も含めて立て直しを図り活性化させた。堀内と同じローザンヌ国際バレエコンクール受賞者である倉永美沙（ボストン・バレエ団からサンフランシスコ・バレエ団に移籍）、加治屋百合子（アメリカン・バレエ・シアターからヒューストン・バレエ団に移籍）が長年トップダンサーとして活躍するほか、全米各州のバレエ団には数多くの日本人ダンサーが所属する。留学生も多い。またローザンヌ国際バレエコンクールと並ぶ若手バレエダンサーの登竜門であるユース・グランプリの決選はニューヨークで開催され、日本からの参加者・受賞者が少ない。

- くらなが みさ 倉永 美沙 (サンフランシスコ・バレエ団プリンシパル) ※◆
- まつやま 松山のりか (サンフランシスコ・バレエ団ソリスト)
- なかの りみ 中野 里美 (サンフランシスコ・バレエ団コール・ド・バレエ)
- きむら かのん 木村 楓音 (アメリカン・バレエ・シアター コール・ド・バレエ)
- すみたに けんと 隅谷 健人 (アメリカン・バレエ・シアター コール・ド・バレエ)
- やまだ 山田ことみ (アメリカン・バレエ・シアター コール・ド・バレエ)
- みやけ たくみ 三宅 啄未 (アメリカン・バレエ・シアター研修生)
- ひらた ありす 平田杏里鈴 (アメリカン・バレエ・シアター スタジオカンパニー)
- かじや ゆりこ 加治屋百合子 (ヒューストン・バレエ団プリンシパル) ※◆
- あくり しまん アクリ士門 (ヒューストン・バレエ団ソリスト)
- ふじわら あおい 藤原 青衣 (ヒューストン・バレエ団ソリスト)
- かとう りょう 加藤 凌 (ヒューストン・バレエ団ソリスト)
- ふくだ ゆみこ 福田有美子 (ヒューストン・バレエ団デミソリスト)
- たきぐち まさのり 滝口 勝巧 (ヒューストン・バレエ団デミソリスト)
- とく さやか 徳 彩也子 (ヒューストン・バレエ団コール・ド・バレエ)
- おが ちさこ 大賀千沙子 (ボストン・バレエ団プリンシパル) ※
- きよさわ ひゅうま 清沢飛雄馬 (ジョフリー・バレエ)
- ささき りょう 佐々木 嶺 (ジョフリー・バレエ)
- たなか みう 田中 美羽 (ジョフリー・バレエ)
- きむら あやの 木村 綾乃 (ワシントン・バレエ)
- みやざき こ 宮崎たま子 (ワシントン・バレエ)
- おおぬき まき 大貫 真希 (ワシントン・バレエ)
- たかはし ゆき 高橋 由記 (パシフィック・ノースウエスト・バレエ コールド・バレエ)

いせだゆか (フィラデルフィア・バレエ プリンシパル) ※
 伊勢田由香
 なかの よしあき (ピッツバーグ・バレエ・シアター プリンシパル) ※
 中野 吉章
 はねじ まさひろ (ピッツバーグ・バレエ・シアター プリンシパル) ※
 羽地 正寛
 いがらし あいり (アトランタ・バレエ)
 五十嵐愛梨
 くまがい さほ (アトランタ・バレエ)
 熊谷 早畝
 たかはし ふき (アトランタ・バレエ)
 高橋 芙季
 やまぐち れい (アトランタ・バレエ)
 山口 れい
 さきた みのり (シンシナティ・バレエ ファーストソリスト)
 崎田みのり
 たにおか なおみ (カンザス・シティ・バレエ)
 谷岡奈緒美
 まつやま あつなり (バレエ・アリゾナ)
 松山 敦成
 はたとり えこ (テキサス・バレエ・シアター)
 畑戸利江子
 のなか ゆうき (サラソタ・バレエ)
 野中 悠聖
 ささき あすか (コロラド・バレエ プリンシパル) ※
 佐々木明日香
 ますだ じゅん (タルサ・バレエ プリンシパル) ※
 益田 隼
 おおた なお (タルサ・バレエ プリンシパル) ※
 太田 菜緒
 おおき あいな (タルサ・バレエ ソリスト)
 大木 愛菜
 にしはら えり (リッチモンド・バレエ)
 西原 瑛里
 まつうら りえ (バレエメット)
 松浦 理恵
 かわもと まと (バレエメット)
 川本 真寧
 ほりうち げん (セントルイス・バレエ芸術監督) ◆
 堀内 元
 かみくさ よしこ (インディアナポリス・バレエ プリンシパル) ※
 上草 吉子
 あか しんたろう (ロサンゼルス・バレエ)
 赤名慎太郎
 きのうち しゅう (L.A.DANCE PROJECT)
 木ノ内 周

【カナダ】

カナダでは、トロントを拠点とするナショナル・バレエ・オブ・カナダを中心にいくつかの有力バレエ団が活動している。カナダでは政府による助成金もあるが、アメリカ同様スポンサーや寄付金による収入が団体の活動の基盤となる。日本出身者としては、1990年代にカナダ最古の名門であるロイヤル・ウィニペグ・バレエでプリンシパルを務めた中村かおりの活躍が知られる（中村はのちにアメリカのパシフィック・ノースウエスト・バレエ団へ移籍）。また、ドイツのハンブルク・バレエ団のソリストを務め、振付家としても名を知られた服部有吉がアルバータ・バレエに移籍し話題を呼んだこともある。

えべ なおや (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ プリンシパル) ※
 江部 直哉
 いしはら こと (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ プリンシパル) ※
 石原 古都
 こやすみ よこ (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ セカンドソリスト)
 子安美代子

- さとう こうた (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ セカンドソリスト)
 佐藤 航太
 はねいし あやの (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ コール・ド・バレエ)
 羽石 彩乃
 ごとう あやみ (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ 研修生)
 後藤 絢美
 いし あんな (レ・グランバレエ・カナディアン プリンシパル) ※
 石井 杏奈
 まがわら ゆい (レ・グランバレエ・カナディアン プリンシパル) ※
 菅原 愉依
 こうの まい (レ・グランバレエ・カナディアン ファーストソリスト) ◆
 河野 舞衣
 ばん やよい (ロイヤル・ウィニペグ・バレエ ソリスト)
 伴 弥生
 こんどう まりこ (アルバータ・バレエ プリンシパル) ※
 近藤 麻理子
 ささき るな (アルバータ・バレエ プリンシパル) ※
 佐々木 瑠菜
 せらい よしや (アルバータ・バレエ ソリスト)
 桜井 芳哉
 ふじわら あかり (ヨルゲン・バレエ)
 藤原 朱里
 なるみ れな (キッド・ピボット)
 鳴海 令那

【メキシコ】

メキシコ国立バレエ団では、2013年に二瓶真由子がプリンシパルに昇進して活躍している。

- にへい まゆこ (メキシコ国立バレエ団プリンシパル) ※
 二瓶真由子

【オーストラリア】

オーストラリア最大のオーストラリア・バレエ団の設立は1962年。現在の拠点はメルボルン。2015年、近藤亜香が初めてプリンシパルに昇格した。そのほか、クイーンズランド・バレエ、ウエスト・オーストラリア・バレエが活発に活動し、日本出身者も活躍中。

- こんどう あこ (オーストラリア・バレエ団プリンシパル) ※
 近藤 亜香
 ねもと りな (オーストラリア・バレエ団シニアアーティスト)
 根本 里菜
 やまだ ゆうみ (オーストラリア・バレエ団シニアアーティスト)
 山田 悠未
 わたなべ あや (オーストラリア・バレエ団ソリスト)
 渡邊 綾
 ありむら か りな (オーストラリア・バレエ団コール・ド・バレエ)
 有村花梨菜
 よしだ ねねか (クイーンズランド・バレエ プリンシパル) ※
 吉田合々香
 いわもと こうへい (クイーンズランド・バレエ シニアソリスト)
 岩本 弘平
 のむら ちひろ (ウエスト・オーストラリア・バレエ団プリンシパル) ※
 野村 千尋
 まつい がくろう (ウエスト・オーストラリア・バレエ団プリンシパル) ※
 松井 学郎
 さいとう きき (ウエスト・オーストラリア・バレエ団ソリスト)
 齋藤 希生
 のぐろ みまゆめ (ウエスト・オーストラリア・バレエ団デミスソリスト)
 野黒美葉夢

【ニュージーランド】

ウェリントンに拠点を置くロイヤル・ニュージーランド・バレエ団が同国を代表するバレエ団。これまでも日本のダンサーが在籍し、瀬島五月らが主役を踊ってきた。

くすかみ きひろ
楠神 貴大 (ロイヤル・ニュージーランド・バレエ団プリンシパル) ※
たにがいと
谷垣内まゆ (ロイヤル・ニュージーランド・バレエ団プリンシパル) ※

【韓国】

韓国国立バレエ団 (1962年創設)、民間運営によるユニバーサル・バレエ (1984年創設) が有名で海外公演も行う。同国出身者からは欧米露で活躍するダンサーも増えている。

おおた ありか
太田 有花 (ユニバーサル・バレエ コール・ド・バレエ)

【香港】

香港バレエ団は、古典作品から現代作品まで多彩なレパートリーを誇り、アジアのバレエ団として有数の多国籍の団員が集っている。日本出身者もこれまで数多く在籍し、富村京子、藤野暢央はプリンシパルを務めた。

えがみ ゆう
江上 悠 (香港バレエ団バレエマスター)
たかの ようねん
高野 陽年 (香港バレエ団ソリスト)
さかい なな
酒井 那奈 (香港バレエ団ソリスト)
せき こうた
関 剛多 (香港バレエ団コリフェ)
かんざき かい
神崎 開 (香港バレエ団コリフェ)

【シンガポール】

1987年に創設されたシンガポール・ダンス・シアターは、全幕バレエからコンテンポラリーバレエ、普及公演まで多彩なプログラムを展開。日本出身者の活躍も目立つ。

あがつま さとる
上妻 悟 (シンガポール・ダンス・シアター プリンシパル) ※
なかはま あきら
中濱 瑛 (シンガポール・ダンス・シアター ソリスト)
みねぎし か な
峯岸 伽奈 (シンガポール・ダンス・シアター ソリスト)
み うら たけあき
三浦 丈明 (シンガポール・ダンス・シアター ソリスト)

(調査協力：高橋森彦)

一般社団法人 日本バレエ団連盟

1968年、日本のバレエ界と文化庁を結ぶパイプラインとして「連絡協議会」が組織された際、今後のバレエ界の発展のために自由に討議する場を作ろうという声が上がリ、1971年にスターダンサーズ・バレエ団、チャイコフスキー記念東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団の3団体により「東京バレエ協議会」が結成された。後に東京シティ・バレエ団が加わり、以降バレエ団の枠を超え共通する諸問題に連携して取り組んできた。

2014年9月、東京バレエ協議会4団体に新たに井上バレエ団、小林紀子バレエ・シアター、貞松・浜田バレエ団、法村友井バレエ団が正会員、新国立劇場バレエ団が準会員として加わり「日本バレエ団連盟」が発足。プロフェッショナル・バレエ団を統括する全国組織として、日本バレエ界の更なる発展とその魅力の発信に努めている。

令和5年度 舞台芸術等総合支援事業
(次代の文化を創造する新進芸術家育成事業)
「新進バレエダンサー・運営スタッフの育成、
並びにバレエ団運営基盤整備および次世代の観客育成に向けた調査」報告書



2024年3月発行

編集発行：一般社団法人日本バレエ団連盟
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2階
Tel: 03-6279-4771 Fax: 03-6279-4772
URL: <http://japan-ballet.com/>

執筆：一般社団法人日本バレエ団連盟、昭和音楽大学バレエ研究所
印刷／製本：株式会社インフォテック

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（次代の文化を創造する新進芸術家育成事業））
独立行政法人日本芸術文化振興会

本報告書の全部または一部を、著作権法で定められている範囲を超え、無断で複製・転載・公衆送信等を行うことはできません。

非売品